

青梅市自治会連合会だより

第3号

新たな年に向けて

令和3年1月1日発行

青梅市自治会連合会 会長 高橋 正



あけましておめでとうございます。会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昭和35年に設立した青梅市自治会連合会は昨年60周年を迎えました。

この間、自治会連合会の発展と地域の活性化にご努力を頂きました歴代役員をはじめ会員の皆様には心より感謝申し上げます。さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大するなかでの運営となりましたが会員皆様のご理解とご協力にお礼申し上げます。

昭和、平成、令和へと移り、新時代の自治会運営が求められています。役員研修会、名和田是彦様「令和時代自治会活動に求められること」では新しい挑戦として都市内分権制度の活用、危機管理、地域福祉への取組み、女性の参画など研修は青梅市世論調査、自治会アンケート、事業計画などと一致するものであり実現に向けた取組が課題となっています。会員の特典制度「すまいるカード」は市からごみ袋の協賛を頂き110社のご協力を頂けるところまで拡大しています。協賛各社様に御礼を申し上げますと同時に会員の皆様にはご活用をお願いします。また、平成21年より開始のホームページを更新しましたので、併せて是非ご活用をお願いします。本年も、青梅市との連携基本協定を生かし「安全、安心、人に優しい住みよいまち」を目指して取り組んでまいります。結びに、本年が皆様にとりまして輝かしい年となりますようお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

青梅市長 浜中 啓一



あけましておめでとうございます。

お健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日頃より、青梅市自治会連合会の皆様には、市政全般にわたり御支援、御協力をいただいておりますことに心からお礼申し上げます。

昨年は、世界最大のスポーツイベントである「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が新型コロナウイルス感染症の影響により、1年間の延期が決定され、その他の様々なイベントも自粛を余儀なくされました。

地域コミュニティの中心である自治会活動も大きな影響を受けられたことと思います。コロナ禍だからこそ、ピンチをチャンスに変える発想から、withコロナ時代の躍進を目指し、自治会連合会の皆様とともに、より安全・安心で、笑顔で暮らせるまちづくりを進めてまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

自治会連合会創立60周年の事業として、青梅市自治会連合会ホームページの構成・デザインを一新しました！



新ホームページは、誰でもが自治会活動をわかりやすく知っていただくことができるホームページを目的とし、トップ画面で自治会活動を写真で紹介、よくあるご質問、自治会とは？、新着情報、お知らせなどを配置し、自治会活動がわかりやすい画面とさせていただきました。



スマートフォンでもとても見やすくなっています。ぜひ一度見に来てください。

青梅市自治会連合会

検索

各支会の紹介

青梅市自治会連合会第1支会（青梅地区） 支会長 山本 佳昭

第1支会は、東は勝沼から西は日向和田までの12の地域から構成され、約3千世帯が加入しています。第1支会の自治会長会議、青梅大祭実行委員会など多くの会議がネットたまぐーセンターで行われています。このセンターは、令和元年4月にオープンし、青梅地区だけでなく、青梅市全体のボランティア活動や文化活動が活発に行われています。令和3年も、このセンターを中心に第1支会の防火防災、福祉活動、親睦等がさらに活発に行えるよう期待し、活動したいと思っています。



ネットたまぐーセンター

青梅市自治会連合会第2支会（長淵地区） 支会長 宇津木 順一

第2支会は会員数4,314名、自治会数24（令和2年度）で、駒木町、上長淵、下長淵、友田町、千ヶ瀬町の5つの連合自治会で構成されている。旧調布村の河辺地区以外の五つの村落が当時の地域、名称（駒木町は当時駒木野）で連合自治会となっている。調布村当時から歴史伝統を共有しており、防災活動、役員研修など連携協力して活動を進めている。特に近年は、調布大祭、第2支会市民運動会を盛大に開催するなど、一体感を深めている。



第2支会市民運動会

青梅市自治会連合会第3支会（大門地区） 支会長 和山 満雄

新年明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、第3支会の行事のほとんどを中止にせざるを得ませんでした。例年ですと、盆踊り、防災訓練、ビーチボール大会、運動会、ふるさと祭り、ファミリーゴルフ大会など、様々な行事を通じて地域の絆を深める活動をしています。本年は、新型コロナウイルスの状況にもよりますが、感染予防対策を徹底して、可能な限り行事の開催に努め、地域コミュニティの活性化を図っていきます。

本年も宜しくお願い申し上げます。



令和元年第3支会ファミリーゴルフ大会

青梅市自治会連合会第4支会（梅郷地区） 支会長 土方 功

梅郷地域は、畑中、和田、梅郷および柚木の各地区から成っており、多摩川右岸の段丘に開かれた東西に細長い地域です。梅郷地域一帯は、全国有数の「梅の里」ですが、「ウメ輪紋ウイルス」の影響で伐採を余儀なくされました。現在では再植栽も進み、梅の里再生に向け様々な取り組みがなされています。また、昨年9月には休館していた吉川英治記念館が再オープンいたしました。支会としても、地域の発展と住民の安心安全のために、より快適なまちづくりに貢献していきます。



梅の公園

吉川英治記念館

青梅市自治会連合会第5支会（沢井地区） 支会長 平岡 孝

第5支会（三田地区）は、青梅市の西部に位置し、二俣尾、沢井、御岳・御岳山と大きく三つにわけられ、それぞれが歴史と文化を背景に特色ある地域を形成しています。また、豊かな自然環境にも恵まれ、特に、紅葉シーズンには多くの観光客が訪れ、賑わいを見せてくれます。しかしながら、一昨年の台風19号では、大雨による山林斜面の崩落、河川の氾濫、橋の流出など、自然災害の恐ろしさを目の当たりにしました。このことを踏まえ、現在、関係諸団体との連携を図りながら、この三田地区が「安全で安心に住み続けられるまち」となるよう、防災面の強化に取り組んでおります。



二俣尾4丁目軍畑大橋

沢井2丁目雲慶院

青梅市自治会連合会第6支会（小曾木地区） 支会長 水野 剛史

第6支会では毎年、住民の防災意識を高める為、9月1日の防災の日に近い日曜日に七小、六中や自主防災組織の関係役員等の協力をいただき、地域ぐるみの防災訓練を開催しています。今年は、昨年の台風19号を教訓に風水害に備えた防災訓練を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、従来の住民参加型の防災訓練は行えないと判断し、災害時に避難所などを開設する自治会役員・自主防災組織等の役員及び七小、六中の関係者（児童・生徒の参加は六中生徒のみ）による感染症に対応した避難所開設のための訓練を行いました。



避難所設営型防災訓練

今までも役員間で様々な連絡を取り合い、情報共有を図っておりましたが、この方式での防災訓練を行ったことにより、改めて、日ごろからの連携が重要であると、関係者一同で認識を新たにしましたところ です。

青梅市自治会連合会第7支会（成木地区） 支会長 井上 良平

我が成木地区には、休日に緑と自然と美味しい空気を求めて訪れる人々が多くいます。特に自転車でのツーリング、モーターバイク、トレイルラン、ハイキングなどの趣味を楽しんでいます。夏には地元や他地区、外国の方々の参加をいただき盛大に盆踊りが行われます。

しかし昨年は新型コロナウイルス感染予防の為、殆どの行事は中止になりました。活気が一日も早く訪れる事を祈っています。



第7支会盆踊り大会

青梅市自治会連合会第8支会（東青梅地区） 支会長 高橋 誠

第8支会では、平成29年度から「子どもたちに地域の歴史と文化を伝える活動」を行っています。これは、支会創立50周年記念誌に掲載した地域の歴史を、ぜひ子どもたちに伝えたいという思いから始めたもので、新旧自治会長が学校を訪問し授業を行っています。今年度で4回目を迎え、実施校も当初の2校から4校に増えました。今後も地域に根ざした活動を行い、次世代を担う子どもたちの育成、安全安心なまちづくりに取り組んでいきます。



小学校での授業の様子

青梅市自治会連合会第9支会（新町地区） 支会長 小花 紀彦

第9支会は、新町・末広町地区で構成されており、人口の集中する地域となっています。例年、盆踊りや各種スポーツを通じ会員の親睦と交流を深め、また防犯パトロールを実施し、地域の安全・安心に取り組んできました。

近年、各地では甚大な自然災害がある中で、自助・共助がますます重要になってきており、自治会は非常に大きな役割を担っています。今後も、支会役員一同、明るく住みやすく安全な地域づくりに向け努力してまいります。



防災講演会

青梅市自治会連合会第10支会（河辺地区） 支会長 澁谷 章

第10支会は、河辺駅を中心に青梅線を境に南側に河辺町1～6丁目自治会・マンション3自治会、北側に河辺北・河辺町7～8丁目自治会の12自治会で構成されています。

南地区では多摩川河川敷でのバーベキュー、春日神社・八雲神社例大祭などでにぎわい、中地区には総合体育館があり、各種イベントが開催され、また駅前周辺には飲食店・商店街があり、とても住みやすい地域です。

第10支会を支える各種団体として、子供育成会、高齢者クラブがあり、資源回収、クリスマス会、誕生会、カラオケ、輪投げ、グランドゴルフなど趣味、イベント・行事に活動しております。また、祭典関係の団体として、氏子会、お囃子会などがあります。



八雲神社例大祭

青梅市自治会連合会第11支会（今井地区） 支会長 宿谷 久男

第11支会（藤橋、今井）は市の東側に位置し、茶畑、霞川、山林など自然豊かな地域です。当支会では、年初に行う市民ウォーキングが注目です。コース選定には、市民センタースタッフにも知恵を絞ってもらい、毎年100人を超える方が参加しています。昨年は、霞川に飛来するカワセミやカルガモ親子の姿を観察しながら、苦しくも楽しく参加者全員が9kmの行程を制覇し、疲れた身体を温か〜いおしろこやコーンスープが癒してくれました。



市民ウォーキングで
おしろこコーンスープ

公共団体との協力について

青梅市自治会連合会との関係が深い、青梅市社会福祉協議会、青梅防犯協会、青梅防火・防災協会について紹介いたします。

● 青梅市社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域住民および福祉関係団体や施設の参加を得て、地域の福祉を推進していく民間団体です。「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を目的に、様々な福祉サービス事業を展開しています。青梅市自治会連合会は、地域社会の福祉向上のため、青梅市社会福祉協議会が実施する歳末たすけあい運動をはじめとした福祉事業に協力しました。

歳末たすけあい運動 募金額 5,817,480円

「お元気ですか」（自治会活動の紹介記事などをよく掲載）配布と、

「お〜ちゃんフェスタ」開催。

自治会での「出張！介護予防教室」や「ダーツ教室」開催。



出張！介護予防教室

● 青梅防犯協会

防犯協会は、市民の防犯意識の普及高揚を図り、犯罪被害の抑止、警察の犯罪捜査等への協力、少年の非行防止や事故の防止を図るための事業を、関係機関・団体の協力を得て推進しています。

青色パトロールでは、自治会仕様の内容の防犯啓発テープを流しています。

「青梅防犯協会だより」の回覧、「青梅・奥多摩 防犯のつどい」の開催、全国地域安全運動への参加。



全国地域安全運動

● 青梅防火・防災協会

防火防災協会は、火災や災害による被害の軽減を図るため、防火防災思想の普及や、各支会・自治会の防災訓練、消防署が実施する防火防災診断などの活動に支援・協力をしています。

自治会での「防災おうめ」の回覧・掲示。



各団体とは、情報交換会を平成29年度から年1回開催しています。

直近では、令和2年2月3日（月）に第3回情報交換会を実施し、お互いの組織の現状を把握すると共に、各団体が自治会の会員数増加の必要性を共通認識としました。防犯協会、防火防災協会については、自治会連合会ホームページにも掲載しています。



皆様のおかげで、「青梅市自治会連合会だより」第3号を発行することができました。今回は新年のあいさつと共に、青梅市自治会連合会を構成する各支会の紹介をさせていただきました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大により、多くの自治会活動が中止を余儀なくされました。こうした中で、日々の活動の意義について、改めて考える機会になったことと思います。次号では、皆様の関心が深い、防災活動への取り組みについて紹介できればと思います。（青梅市自治会連合会広報委員会）